

天地の正氣

(凱歌)

一、天地の正氣せいきひと人の華かも

春は安積の岡の辺べに

秋は五十鈴いすずの月影に

集めて成れる健男児

二、一度鉄腕ひとたび振ふ時ふる

勇いさめる敵の影もなし

再びたたば玉冠ぎょっかんは

己おのが頭上に輝けり

三、全勝の榮はえ今ここに

芙蓉ふようの峰の朝ぼらけ

光照らさん隅ぐまもなく

見よや安積の健男児